

# 第24回

# 社会言語科学大会

Program of the 24th Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

## 2009/9/19-20

日時：2009年9月19日(土)/20日(日) 受付開始：9:30  
 場所：京都大学 吉田南キャンパス 〒606-8501 京都府京都市左京区吉田二本松町

交通：地下鉄烏丸線 今出川駅(市バス：烏丸今出川駅) / 地下鉄東西線 東山駅(市バス：東山三条駅) / 阪急線 河原町駅(市バス：四条河原町駅) から市バスで15~25分(201系統：京大正門前下車)  
 参加費(大会論文集1冊込)：4,000円/会員 5,000円/非会員 4,000円/非会員学生 [事前申込み(割引) につきましてはホームページをご覧ください]  
 問い合わせ先：社会言語科学会研究大会委員会 E-mail: jass-desk@bunken.co.jp http://www.wdc-jp.com/jass/24/

9:30		9月19日(土)			
10:00-12:00	ワークショップ 1 2	地域に定住する日本語学習者の言語生活に関する縦断的研究 [4共30講義室] —OPIテストを活用した会話データからみえてきたこと— 野山 広(国立国語研究所)・・・企画者 嶋田 和子(イーストウエスト日本語学校)、岡部 真理子、篠野 智紀(国立国語研究所)、塚原 佑紀(首都大学東京大学院)	空間表現はいかにして構成されるのか [4共31講義室] —個人内要因と参加者間の相互作用— 城 綾実(滋賀県立大学大学院)、古山 宣洋(国立情報学研究所)・・・企画者 片岡 邦好(愛知大学)、武長 龍樹(東京大学大学院)、松本 曜(神戸大学大学院)、森 直久(札幌学院大学)		
11:30-12:00	口頭発表	<セッション1> [4共11講義室] 司会：阿部 新(名古屋外国語大学) ・第二言語ディスカッションにおける非言語音への志向 細田 由利、デビッド・アリン(神奈川大学)	<セッション2> [4共21講義室] 司会：松尾 慎(東京女子大学) ・法廷における方言の機能 札埜 和男(京都教育大学附属高等学校)	<セッション3> [4共22講義室] 司会：松丸 真大(滋賀大学) ・雑談における「共同注意」と参加者間の関係性の「切り結び」 名塩 征史、山本 真理(北海道大学)	
13:35-14:45 [吉田生協食堂1F]	発表 ポスター 1	・日本語学習者の発話に見られる言い直しの特徴 野原 ゆかり(お茶の水女子大学)	・携帯メール言語に現れる言語行動 新井 保裕(東京大学/日本学術復興会)	・話し言葉における「なんか」と「ちょっと」 本間 妙(中部大学)	他 計18件
14:30-15:00	口頭発表	<セッション4> [4共30講義室] 司会：増田 将伸(甲子園大学) ・トキ野生復帰と地域の活性化に関するワークショップにおける地元参加者の発話機能 西條 美紀、筒井 千絵、川本 思心、桑子 敏雄(東京工業大学)、島谷 幸宏(九州大学)	<セッション5> [4共21講義室] 司会：松丸 真大(滋賀大学) ・パターンの生産性から見る言語の定型性 吉川 正人(慶應義塾大学)	<セッション6> [4共31講義室] 司会：金 美善(国立民族学博物館) ・ライフコースの視点から考える言語使用・年齢・ジェンダー 武黒 麻紀子(早稲田大学)	<セッション7> [4共11講義室] 司会：松尾 慎(東京女子大学) ・「インドネシア華人」を形成する要因 中谷 潤子(大阪産業大学)
14:45-15:55 [吉田生協食堂1F]	発表 ポスター 2	・「から」「ので」の形態的特徴と使用ジャンル 小西 円(早稲田大学)	・外国人に対する日本人の言語行動と意識 金田 知子、福永 由佳、黒瀬 桂子(国立国語研究所)	・模擬評議における裁判官と裁判員の非対称性 藤原 由貴、佐藤 彰(大阪大学)	他 計17件
16:00-17:30		招待講演 移民政策研究の意義と課題 近藤 敦(名城大学)	／司会：野山 広(国立国語研究所) [4共30講義室]		
17:30-18:00		名誉会員推戴式 [4共30講義室] 水谷 修(名古屋外国語大学学長)、長尾 真(国立国会図書館長)			
18:15-		懇親会 [吉田生協食堂2F]			

9:30		9月20日(日)			
10:00-10:30	口頭発表	<セッション8> [4共21講義室] 司会：筒井 佐代(大阪大学) ・日本語学習者の言語行為成立の過程における発話とジェスチャーの不可分性 加藤 林太郎、服部 明子(名古屋大学)	<セッション9> [4共31講義室] 司会：須藤 潤(立命館アジア太平洋大学) ・中国語母語話者による日本語名詞修飾節中のテンス・アスペクト表現の習得過程 盛 文淵、吉本 啓(東北大学)	<セッション10> [4共11講義室] 司会：高木 千恵(関西大学) ・司会者の発話に使用されるテモラオウ 大久保 加奈子(京都府立大学)	<セッション11> [4共30講義室] 司会：西尾 純二(大阪府立大学) ・依頼場面における「断り」に至るまでの言語行動についての研究 吉田 好美(お茶の水女子大学)
10:35-11:05		・多人数会話場面のリスト構造からジェスチャーの同期を考える 城 綾実、細馬 宏通(滋賀県立大学)	・テイルの「結果の状態」用法の習得 Hui-Wen Chien、中村 渉(東北大学)	・「~かける」・「~かかる」のアスペクト的意味について 呂 芳(九州大学)	・会話参加者のナラティブにみるポライトネスの変化 谷 智子、三牧 陽子(大阪大学)
11:10-11:40		・「共一成員性」の達成手続きにおける聞き手の役割 今田 恵美(大阪大学)	・日本語における主題の省略についての研究 劉 澤軍(神戸大学)	・現代日本語話し言葉における言語形式「たしかに」 原田 幸一(横浜国立大学)	・日本語の会話における否定的評価の明示性にまつわる要因 関崎 博紀(筑波大学)
11:45-12:15		・非母語話者との接触場面において母語話者のあいづちと理解表明に接触経験が及ぼす影響 柳田 直美(東京外国語大学)	・関西地方で日本語を自然習得したある中国帰国者の文末詞ヨネ 小原 貴子(大阪大学)	・会話における直示表現の「再使用」について 須賀 あゆみ(奈良女子大学)	・企業のリコール広告におけるストラテジーについて 新藤 照夫(福岡医療福祉大学)
13:30-15:30	3 ワークショップ	持続可能な社会の実現に向けて私たちのできること [4共30講義室] —ウエルフェア・リングイスティックスを目指して— 村田 和代(龍谷大学)・・・企画者 大塚 裕子(計量計画研究所)、オストハイダ、テヤ(関西学院大学)、坊農 真弓(国立情報学研究所)、森本 郁代(関西学院大学)、渡辺 義和(南山大学)			
15:00-15:30	口頭発表	<セッション12> [4共31講義室] 司会：金 美善(国立民族学博物館) ・注文における相互理解と連鎖組織 黒嶋 智美(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)	<セッション13> [4共21講義室] 司会：阿部 新(名古屋外国語大学) ・日本語接触場面におけるコミュニケーション・ストラテジーの成功率について 方 穎琳(お茶の水女子大学)	<セッション14> [4共22講義室] 司会：中野 敦(国際文化フォーラム) ・企業における日本語人材の需要と課題 李 娜(大阪大学)	<セッション15> [4共11講義室] 司会：松丸 真大(滋賀大学) ・空間表現を用いた時間メタファーの構造に関する再考 飯島 怜(慶應義塾大学)
15:35-16:05		・日本語の問題解決の会話における不同意とそのあとの連鎖 高井 美穂(大阪大学)	・高齢者のコミュニケーション能力は劣っているのか 梅本 仁美(大阪国際大学)	・日本の企業社会で必要とされる異文化理解能力 戒谷 梓(大阪大学)	・中国語の歌掛けにおける接続表現の不使用 梶丸 岳(京都大学)